

令和 5 年度研究推進計画

学 校 名 東広島市立中央中学校

校 長 名 小島 弘之

1 研究主題，研究内容・方法等について

(1) 研究主題

「主体的・対話的で深い学び」のある授業の創造
～「対話」を促す探究ループのデザインを通して～

(2) 研究主題設定の理由

中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説総則編では，育成すべき資質・能力の三つの柱として，「知識・技能」の習得，「思考力・判断力・表現力等」の育成，「学びに向かう力，人間性等」を涵養することが示され，それらが偏りなく実現されるために生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められている。

本校では，令和 2 年度から『「主体的・対話的で深い学び」のある授業の創造～考える力と伝え合う力の育成を通して～』を研究主題に掲げ，「主体的・対話的で深い学び」のある授業における目指す生徒像を設定し，研究に取り組んだ。

昨年度は，「主体的な学び」のある授業づくりについて，【学び方を学ぶ】【対話を通して学ぶ】【学びを深める】【学びを確かめる】の「探究サイクル」をデザインし，確立することを目指して取組を進めた。テストの目標を立てて，自律的に学習に取り組むことができた生徒は，学力が向上し，テストの点数も伸び，次のテストへの意欲が高まった。また，単元テストの取組を振り返ることで，学習方法を見直し，次のテストに向けて，目標を立てて学習に取り組むという「探究サイクル」を確立でき，一定の成果をあげることができた。一方，学習に主体的に取り組むことが難しい生徒は，テストの点数が伸び悩み，学習に対してもどのように取り組めばよいのかをつかめずにいる状況が見られた。そこで，授業の中で ICT を活用する場面を設置した。ICT を活用することで，学習に主体的に取り組むことが難しい生徒でも，興味を持ち，学習に取り組むことができた。また，授業の中で，教え合ったり，学び合ったりする「対話的な学び」の場面を多く設定した。そのことにより一人では解決が難しいことを仲間と一緒に考えることで，分かる，できると感じる生徒が増えた。

取組の結果，自らの学習を調整できるように「振り返り」を充実させ，ICT を活用した授業を通して，「対話的な学び」の場を設定することが「主体的に学ぶ生徒の育成」につながると考えた。

そこで，今年度も，「主体的・対話的で深い学び」のある授業づくりの研究を継続して進めることとした。まず，ICT を活用した授業を展開することで，生徒の興味・関心を促したい。次に，学び合い，教え合いのなどの「対話」を促すことで，「考えを交流する」「交流を通して考えを広げる」「協働して課題を解決する」ことができるようにしたい。また，授業やテストなどの「振り返り」を充実させることで，「学習の目標を立てる」「学習状況をモニタリングする」「目標に向かって粘り強く取り組む」「学習

方法や取組を工夫する」ことができるようにしたい。以上のことから、「対話」を促す「探究ループ」のデザインを通して、「『主体的・対話的で深い学び』のある授業の創造」を研究主題に設定した。

(3) 研究仮説

「単元を見通して学ぶ」「ICTを活用して学ぶ」「対話を通して学ぶ」「学びを深める」「学びを確かめる」「学びを振り返る」という「探究ループ」のデザインができれば、さらに主体的に学習に取り組むことができ、「主体的・対話的で深い学び」のある授業の創造につながるであろう。

(4) 研究内容

- ①「単元を見通して学ぶ」研究をする。
 - ・本質的な問い，単元を通じた問い，個別の問いなどをもとに課題を設定する。
 - ・問いを単元のどこに仕組むかを考えて単元構想を工夫する。
 - ・教科等の「見方・考え方」を働かせて課題を解決させる。
- ②「ICTを活用して学ぶ」を研究する。
 - ・単元構想の中に，ICTを取り入れた授業を設定する。
- ③「対話を通して学ぶ」研究をする。
 - ・学び合い・教え合いなど対話的な学び合いの場を設定する。
 - ・考えを交流させ，交流を通して考えを広げ，協働して課題を解決させる。
- ④「学びを深める」研究をする。
 - ・各教科の課題を通して学習内容の定着を図る。
 - ・探究ノートを活用して学習を深めさせる。
- ⑤「学びを確かめる」研究をする。
 - ・定期試験と単元テストを計画的に実施する。
 - ・定期試験と単元テストの取組を振り返らせる。
- ⑥「学びを振り返る」研究をする。
 - ・学習目標を立てさせる。
 - ・授業やテストに向けての学習状況をモニタリングさせる。

(5) 検証の方法及び指標

- ・『主体的・対話的で深い学び』のある授業の創造」について，取組前後の生徒及び教員の授業に対する意識調査を比較し，各項目で肯定的評価の割合が80%以上となることを目指す。
- ・各教科でのブロック研修で，「主体的な学び」を促す「振り返り」や「課題」の設定，「対話的な学び」を促す「学び合う」活動が目指す生徒像の実現に有効だったかについて質的に検証する。

2 検証計画

- (1) 7月, 11月に, 生徒や教員に授業に対する意識調査を実施し, 成果と課題, 改善点を明らかにする。
- (2) 各教科のブロック研修で, 「主体的な学び」を促す「ICTの活用」や「振り返り」, 「対話的な学び」を促す「学び合う」活動が目指す生徒像の実現に有効だったかについて質的に検証し, 成果と課題, 改善点を明らかにする。

3 校内研修計画

- | | |
|--------|--|
| 4月 | 校内研修で, 研究の方向性, 研究主題, 指導案作成について共通認識を図る。 |
| 5月 | ICTを活用しなければならないことの共通認識を図る。 |
| 5月 | 生徒, 教員に学習や授業に対する意識調査(事前)を実施する。 |
| 6月 | ICTの具体的な使い方について学ぶ。 |
| 6月 | 単元構想シートを作成し, 校内研修で交流する。 |
| 7月 | 各教科においてブロック研修を実施する。(2教科) |
| 7月 | 生徒, 教員に学習や授業に対する意識調査(事後1回目)を実施する。 |
| 7月 | 校内研修で, ICTの活用について交流する。(1回目) |
| 8月 | 校内研修で, 前期前半の振り返りと, 今後の取組について確認する。 |
| 9月 | 校内研修で, 効果的な学び合いの仕方について交流する。 |
| 9月~11月 | 各教科においてブロック研修を実施する。(4教科) |
| 10月 | 校内研修で, ICTの活用について交流する。(2回目) |
| 11月 | 校内研修で, 取組の振り返りと, 今後の取組について協議する。
生徒, 教員に学習や授業に対する意識調査(事後2回目)を実施する。 |
| 12月 | 校内研修で, 後期前半の振り返りと, 今後の取組について協議する。 |
| 1月 | 本年度の成果と課題について整理する。 |
| 3月 | 令和6年度の研究の方向性を検討する。 |

4 研究公開の予定について

公開予定日	なし
公開範囲	なし
公開内容等	なし